

農業生産法人 株式会社コムズファーム

就労継続支援B型事業所「コムズファーム」(石狩市)

○基礎情報【経営形態：農作物の生産・加工、農産物の販売及び付随業務】

【職員数：7名、事業所利用者数：33名(知的、精神、発達障がい者など)】



<問い合わせ先> コムズファーム石狩農場 ☎ 0133-76-6406

1 農福連携に取り組んだ経緯

地域活性化に取り組むコンサルタント会社を経営する代表者が、空地・空き店舗等の有効活用の方策として植物工場の検討を始めたことを契機に養液栽培(水耕栽培を含む)を知り、その後、水耕栽培の研修のために出向いた関西の農場で障がい者雇用と出会った。研修期間において障がい者と共に仕事をする中で、そのモデルを北海道で応用できないか検討を始め、平成25年3月に、健常者、障がい者の枠を超え、畑(農業)を中心に地域コミュニティを醸成できるコミュニティファームを目指して農業生産法人を設立するとともに、翌年1月には、就労継続支援B型事業所を設立し、農福連携の取組を開始した。

2 取組内容

- (1) 就労形態：自社農園(4.6ha、ビニールハウス8棟)における農作業全般(農作物の生産・加工、農産物の販売及び付随業務)
- (2) 就労期間：通年
- (3) 就労時間(休憩)/稼働日：10:00~15:00(昼休憩1時間)/月曜日~金曜日
※日曜日及び祝祭日は休み、土曜日は月2回程度開所
- (4) 工賃：300円~/時間 ※皆勤手当、賞与(2回/年)あり
- (5) 送迎：あり ※対象地域は問い合わせ先に要確認
- (6) 昼食：あり(100円/食)



3 取組の特徴

- (1) 水耕栽培、施設栽培、露地栽培など多様な形態で農業を行っており、軽作業から重機を使った作業まで、事業所の利用者(以下「利用者」という。)の能力や意欲に基づいた作業が可能となっている。
- (2) 苗作りから管理、収穫、加工及び販売まで、季節に合わせて30種類(50品目)以上の農作物を生産することにより、多くの作業を生み出すとともに、利用者が楽しみながら作業できるよう配慮している。
- (3) 冬期間においても、水耕栽培による葉物野菜や、施設栽培による寒締めほうれんそうなどを栽培し、利用者が1年を通して農業と触れ合う機会を提供している。
- (4) 月2回程度、農場敷地内において、農産物の直売会を開催し、利用者が自らの手で農産物を販売することで、経済活動に触れるとともに、地域との交流の場となっている(売上の一部は賞与として年2回支給)。
- (5) 利用者のうち希望する者には、所有する農地の一部を貸し出し、自身の農園として農作物を育て、収穫した農作物を直売所で販売することができる。

4 障害者就労への考え方

- (1) 法人が農地を所有し、農作物の栽培・加工及び農産物の販売を一貫して行うことで、利用者が興味のある分野、利用者の能力に応じた分野や得意な分野に向けて、ステップアップする可能性が開けるとの考えから、より経済活動に近く、共同で行う作業を重視し、利用者の能力や意欲に合わせた実践的な作業を提供している。
- (2) 利用者及び職員が働きやすく、その上で興味を持って作業できる環境を整備することが重要であるとの考えから、農作物の通年での栽培及び多品目の栽培並びに6次産業化の取組を進めている。

5 今後の予定や将来展望

- (1) 増改築した事業所において、トマトなど収穫した農作物を使用したジュースやスムージーを提供するカフェや、先端技術を活用した無人販売所を開設する準備を進めている。
- (2) 数年後を目途に、就労継続支援A型事業所の設置・運営を予定している。
- (3) IoTを活用するなど先端技術を取り入れた農業を推進していきたいと考えている。
- (4) 畑(農業)を中心とした地域のコミュニティファームを目指し、将来的には、加工場、カフェ及び直売所を活用し、認知症カフェや子供食堂の開設、食育の取組、各種教室の開催なども視野に入れている。